

## 【水彩画クラブ27】卒業後9年目の活動 2021年5、6月

### ◇第181回活動:2021年5月24日(月) 午後1時から ヌエック206室

前回まで習作してきた課題『天龍寺のしだれ桜』、自宅で仕上げてきた作品を黑板上に並べ、内ちゃん先生の画評をいただいた。



内ちゃん先生がまとめて調達された”あべとしゆき先生著作『水彩画 光のアンサンブル』”が配られた。

その本の68Pにある”ドライブラシとぼかしで曇天の雪山を描く”を見ながら描いていく。

夫々の描き方がスマホやPCで指導状況を見ることが出来る。スマホでの取り込み方や、PCで開く方法を教わった。

課題写真『冬の雪と山』を習作していく前に、雪山に見える青黒っぽい木々の描き方を練習する。

#### 1. 黒っぽい木々を描いていく、”ドライブラシ技法”を練習する。

##### ① 黒っぽい木々の色をつくる。

a) 焦げ茶色と鮮青色を混色してから、少し陰緑色を少し加えて混色し水溶きしておく。

濃い目の色と、薄い目の色もつけて水溶きしておく。

b) 同じ混色で、鮮青色を少し減らして混色し、茶色に近い色に混色してから、水溶きしておく。

c) 同じ色に少し橙色を加えた色をつくり、水溶きしておく。

##### ② 用意してきた水彩紙にドライブラシ技法で木々を描いていく。

1) 用意してきた削用筆(絵手紙用中筆)の穂先を抑えてばらしてから、夫々の色を筆に含ませ、筆先でサッサッと引いて山の木々を描いていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

2) 課題写真を見ながら、濃い目の木々や薄い目の木々、青っぽい木々や茶色っぽい木々などを、ドライブラシ技法で描いていき、水筆で少しぼかしていく。

#### 2. 右手前にある黒っぽい杉木立の描き方を説明された。

① 薄い目に水溶きしたaの色で、課題を見ながら杉木立を描いていく。

② 次に濃い目に水溶きしたaの色で、木々の並び(前後など)を意識して杉林を描いていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。各自自宅で雪山の木々を仕上げてくる。

#### 3. 次回(6月14日(月))の活動予定 ヌエック研修棟/302室

課題『冬の雪と山』の2回目。空と雲の光をぼかして描いていく。

### ◇第182回活動:2021年6月14日(月) 午後1時から ヌエック302室

12時30分のヌエック受付時に、7月、8月(1回のみ)、9月の結集室の予約を行った。結果は7月12日と26日、8月9日、9月13日と27日が申込み通り予約ができた。研修室は全て206室を予約したが、9月13日のみ302室となった。

各自自宅で雪山の仕上げと、右下右側手前にある黒い杉木立を描いてきた。

課題写真『冬の雪と山』の2回目、曇天の空を描いて仕上げる前に、あべ先生の『水彩画 光のサンプル』にある

”空や雲の描き方”を見ながら練習していく。

1. ティッシュペーパーで空を描く。(40P)

各自用意した描き損じた水彩紙の裏側で練習した。

① 青い空色をつくる。

青い空色と鮮青色の混色で、多めに水溶きしておく。

② 青い空色を刷毛に含ませ、左から右へサーッと塗っていく。

③ ティッシュを軽く丸めて、真っ白にしたい部分だけ初めに取っておく。

あとは少しずつ乾くのを待ちながら、かすれた感じの白を広げていく。

2. ぼかしと筆で雲を描く。(44P)

① 紙を立てるなどし、刷毛を縦横斜めと動かして、全体にしっかりと水を塗っていく。

② 毛筆のような3号大筆に青い空色を含ませ、想定する白い雲の周りのにじみ具合を確認しながら、塗っていく。

③ 大筆をきれいにすすいだ後、ティッシュで水を絞ってから白い雲の端を拭って形を整えていく。

3. 逆光の雲をマスキングで描く。(60P)

① 雲の色を用意する。

a) 黄色と黄土色を混色して、水溶きしておく。

b) ピンク色を水溶きしておく。

c) 黒っぽいグレーの雲色

鮮青色に焦げ茶色を混色してから、暗緑色を混色して黒っぽいグレーを水溶きしておく。

② マスキングペンで雲の形を描くようにマスキングしていく。

③ マスキングインクをドライヤーで乾かしてから、囲んだ中に筆で水を塗っていく。

④ 濡れているうちにa色を小筆に取り、垂らしこむようにおいていく。

オペラも加えて赤みを出していく。

⑤ 雲の輪郭より少し離して雲の厚みを考えながら黒っぽいグレーを垂らしていく。

5. 課題『冬の雪と山』の曇天を描いていく。

① 曇天の雲の色をつくる。

鮮青色と焦げ茶色をほぼ同量で混色して水溶きしてから、

a) 紫色を多めに混色し、多めに水溶きしておく。

b) 紫色を少なめに混色し、多めに水溶きしておく。

② 空全体に刷毛で縦、横、斜めに動かして十分に水を塗っていく。

③ 課題写真を見ながら、濃い目に見える雲にはa色を3号大筆に取り、垂らし込むように雲の形を描いていく。直ぐに、塗ってきた雲の周囲や白い雲の境目などを、水筆でぼかして雲の形を描いていく。

④ 同じように淡い目に見える雲にはb色を3号大筆に取り、垂らし込むように雲の形を描いていく。直ぐに、塗ってきた雲の周囲や白い雲の境目などを、水筆でぼかして雲の形を描いていく。

⑤ 左側の紫っぽい雲が山際まで垂れているので、その紫色(a色)を淡い目に山際の木々の間にサッサッと小筆で入れていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。

6. 次回(6月28日(月))の活動予定      スエック研修棟/206室

次回かの課題写真『5月の田園風景』が配られた。

準備してくること。

1) 手本用の写真がA3判で4枚配られた。(同じ風景で淡いのと濃い写真)

淡い写真・濃い写真共に接合部で貼り合わせて手本台をつくる。

2) 水張りしたF8のウォーターフォード水彩紙にデッサンする。

淡い手本を見ながら田園風景をデッサンしてから、濃い手本を見ながら左側に見える山をデッサンする。